



2019 女子ハンドボール 世界選手権大会

24th IHF WOMEN'S HANDBALL
WORLD CHAMPIONSHIP KUMAMOTO/JAPAN 2019



戦況用紙

開催日	2019年 12月 13日 金曜日	試合コード	#91
開催地	(都道府県名) 熊本県	会場名	パークドーム熊本

結果	A	スコア		B
	GER	24	前半	35
13 — 18				
後半				
11 — 17				
第一延長前半				
—				
第一延長後半				
—				
第二延長前半				
—				
第二延長後半				
—				
7 m c	—			
—	—			
Germany (ドイツ)				Sweden (スウェーデン)

戦況	見出し	最後まで攻撃の手を緩めなかったSWEが、place matchを制す。
	前半	7・8place matchは、SWEスローオフで試合開始。互いにDFは、6-0システムを展開する。先取点は1分55秒GERのNo.17がジャンプシュートによって奪い、直後にSWEもNo.25が得点し同点とする。その後は互いに得点を重ね、点差がつかない展開となる。この均衡を破ったのはGERNo.13、8分35秒にポストシュートで5-3とし、この試合初めての2点差とすると、8分19秒にはSWEがT0を取得する。ドイツ優勢の流れは変わらず、11分38秒にはここまで再三のナイスセーブを見せていたGKNo.12からのロングパスを受けたNo.29がFB、12分55秒にはNo.17がすでにこのゲーム5得点目となるロングシュートを叩き込み8-4とする。しかしここからSWEはNo.4のサイドシュート等で3連取し、16分までに8-7の1点差と詰め寄る。ここでもGERGKNo.12が決められれば同点というシュートを防ぐが、このあと19分にNo.7のポストシュートでついに同点とされる。この後は互いに得点を重ねるが、SWEはNo.6のブレイクスルーやNo.10のFBなどで3連取し13-16の3点差とする。20分33秒、GERはT0を申請するが、SWEの勢いは止まらず、GERは25分36分にNo.3が退場処分となり数的不利の状況となり、劣勢が続く。29分17秒にはNo.6が獲得した7mTをNo.20が決め、さらに終了間際の29分57秒にはNo.8がFBにより得点。13-18のSWE5点リードで前半を折り返した。
後半	後半となってもSWE優勢は変わらず、1分3秒にはNo.4が獲得した7mTをNo.20が決め、さらにGKNo.12がファインセーブを連発。ロングパスを供給しNo.8がFB、2分秒までに13-20と点差を広げる。GERは4分10秒にT0を申請すると、5分18秒にNo.3が後半初得点となるジャンプシュートを決める。点差を縮めたいGERだが、FBやPVなどの決定機をことごとくSWEGKNo.12にシャットアウトされる。GERのGKNo.16も好セーブを見せるが、SWEの猛攻は止まらず、14分10秒にはNo.32が退場処分となり、コートプレーヤーと交代してGKを下げていた隙を突かれるなど、15分までに16-26と10点差をつけられてしまう。GERは17分13秒にNo.4がブラインドシュートを決めると、ここから3連取し、19-27と詰め寄る。ここでSWEは19分24秒にT0を申請する。18分以降にGERが多用了7人攻撃の隙を逃さずSWEはエンペティゴールを次々に陥れ、点差を広げる。これまでビッグセーブを再三繰り返していたSWEGKNo.12が20分13秒には2分間の退場処分を受けるものの、交代で出場したNo.16も要所で好セーブを見せ、SWEは相手に流れを渡さない。28分10秒にはSWENO.20のノールックパスからPVNo.11のシュートを決め24-35となし、SWEが最後まで攻撃の手を緩めずに勝利を手にした。GER24-35SWEで試合終了。SWEが7位、GER8位となった。この試合のプレーヤーオブザマッチは、SWE-No12 IDEHN Filipphaが受賞した。	



戦況作成者

清水 翼